

2014年度ECALGAセミナー 企業間コラボレーションを実現するECALGA標準

- 主催：企業間EC委員会
- 担当部署：ECセンター
- 参加者数：約100名

概要

JEITA ECセンターでは、IT・エレクトロニクス業界における企業間の全業務プロセスを電子的にグローバル且つシームレスに繋ぎ、相互の経営効率向上を目指した業界標準ECALGA (Electronic Commerce Alliance for Global business Activity) の啓蒙・普及活動を行っており、この一環として例年、ECALGAセミナーを開催しています。今回はECセンターの業際化、国際化対応の活動報告と、電子商取引の将来VISIONの検討状況、企業間のデータ交換を1インタフェースで実現することを目指したASP連携標準、Web-EDI認定などのITインフラ、国際化活動として、ECALS辞書の「IEC61360 Quality Guide」への準拠と「同 Common

Data Dictionary」への新規部品クラスの追加提案の過程、複数の企業で実用化や実用化への検討が始まったECALSの活用事例について専門家の方よりご講演頂きました。



プログラム

○開会挨拶

企業間EC委員会 議長 堀川 幸治 氏

○「ECセンター活動概況」

企画部会 部会長 桃木 典子 氏

○「ECALGAを支えるITインフラ」

情報技術委員会 委員長 佐藤 広隆 氏

○「ECALS辞書の国際標準化活動」

技術標準専門委員会 主査 斎藤 春洋 氏

○「ECALS実用化専門委員会活動状況」

ECALS実用化専門委員会 主査 中島 光一 氏

○「ECALSの活用事例」

- ①三菱電機(株) 桧垣 勝人 氏
- ②キヤノン(株) 加藤 元章 氏
- ③大手自動車部品 (株)豊通エレクトロニクス 阿部 修久 氏

○「ECALSデータ作成支援ツール説明」

ECALS実用化専門委員会 阿部 修久 氏